

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 15日

事業所名 運動発達支援スタジオ笑みりい～大阪狭山

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	運動療育を行う上で、十分な広さを確保しています。	
	2 職員の配置数は適切である	86%	14%		基準の人員配置よりも多く配置できるように努めています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	機能訓練室は段差のない作りになっています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	71%	29%		支援会議を定期的に行い、個別支援計画に基づいた支援が行われているか、職員全員で振り返りを行っていきましょう。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	アンケートでの指摘やご意見を職員全体で共有し、業務の改善に努めています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	アンケート結果をHPで公表しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		第三者による外部評価は実施していないので、今後実施していくように検討していきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	毎月の社内研修を行っています。外部研修にも随時参加している。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	86%	14%	面談を行い保護者のニーズが支援計画に反映されるように努めています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	86%	14%	発達検査の結果を保護者様の了承を得て職員全体で共有し、支援に活用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	71%	29%		集団療育が基本になっているので、個別的な療育の内容を充実させていきたいと考えています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼でその日の支援内容や役割分担を確認しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終礼時に情報共有や振り返りを行っています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	業務日誌や、個人の記録をつけ、職員間で支援の情報共有を行っています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年ごとにモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	57%	43%			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	86%	14%		管理者と子どもの様子を把握している職員と共に参加できるように努めていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	事前に学校と送迎場所、時間の確認や打ち合わせを行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	0%		今のところ医療的ケアが必要な利用児の利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	71%	29%	保護者様の了承を得たうえで、園での様子や事業所の様子を共有しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	0%		小学6年までの利用になっており、該当する利用児がいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	86%	14%	保護者の承諾のもと、連携し支援の助言や情報共有を行っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		今後交流や機会が持てるように検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	86%	14%	2か月に1度地域の自立支援協議会の部会に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	14%	86%	事業所内でペアレントトレーニングの事業は行っていないので、外部で実施しているペアレントトレーニングをご案内しています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	71%	29%	体験や契約時に説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	連絡ノートの記載や送迎時にいただいた相談に乗りながら必要な助言や支援を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	14%	86%		コロナの影響も落ち着いたので、今年度は実施していく予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	0%	0%	苦情があった場合には早期に対応できるように迅速に対応できるように体制を整えています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	29%	71%	ホームページのブログで日々の活動内容を掲載しています。ラインのやり取りを通じて、お子さまの活動時の写真や動画を見ていただいています。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人が特定されないように注意しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	57%	43%	絵カードや写真等の視覚支援を活用しながら意思疎通ができるようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	14%	86%		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	71%	29%	各種マニュアルは作成しています。社内研修で定期的に職員間で周知しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年に2回避難訓練を行っています。最寄りの避難場所までの誘導を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	定期的に虐待防止の研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	14%	86%		今のところ身体拘束を行うようなおさまはいないのですが、今後必要なおさまの対応を検討していき、必要な場合は計画に記載して同意いただくようにしていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	0%		食事やおやつ等の提供をしていないので、指示書に基づく対応は行っていません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		